

リカレント教育講座～高精度板金加工機技術講習～

報告者	木村 慧	報告日時	令和4年3月17日(木)
実施場所	実習工場	実施日時	令和4年3月15日(火), 16日(水)
参加職員	2名(高橋(一), 木村)		

・報告

リカレント教育講座の「高精度板金加工機技術講習」を3月15日、16日の2日間で開催しました。

リカレント教育講座は、高専高度化推進経費・学校改善事業として採択された「イノベーションコモンズを核とした企業とのコラボレーションと人材育成」の一環として進められているもので、「高精度板金加工機技術講習」は7コースあるうちの1つとなります。受講対象者を企業技術者および求職者として募集し、参加者は1名でした。

本講座では、ペン立ての製作過程を通して、各種板金加工機の機能・特徴をよく理解し、基本的な操作及び準備作業を習得、1人で作業を行うことができるようになることを目標としています。スケジュールは以下の通りです。

- ・3月15日 9:00～15:00 機器概要の説明、ペン立て作製の実演
- ・3月16日 9:00～12:00 ペン立て作製
13:00～15:00 質疑応答・復習(ネームプレート等の作製)

1日目は、シャーリングマシン、ファイバーレーザー加工機、プレスブレーキ、スポット溶接機についての説明を行い、講師がペン立て作製の実演をしながら加工機の操作を説明し、受講者には各加工機の操作を体験してもらいました。2日目は、受講者がペン立て作製のすべての工程を1人で行いました。作業順(次の加工はなにかなど)は指示したものの、加工機の操作はスムーズに行われ、問題なくペン立てを作製していただきました。想定よりも作業の進行が早く時間に余裕ができたため、受講者の希望を受けファイバーレーザー加工機を使用したネームプレート、表札、ブックエンドの製作にもチャレンジしていただきました。

本講座の経験より、実習や公開講座など学生や小中学生への指導の際にも活かせることが多く見つかったので、今後の業務にしっかり反映していきたいと思います。



図2 ファイバーレーザー加工機の説明の様子

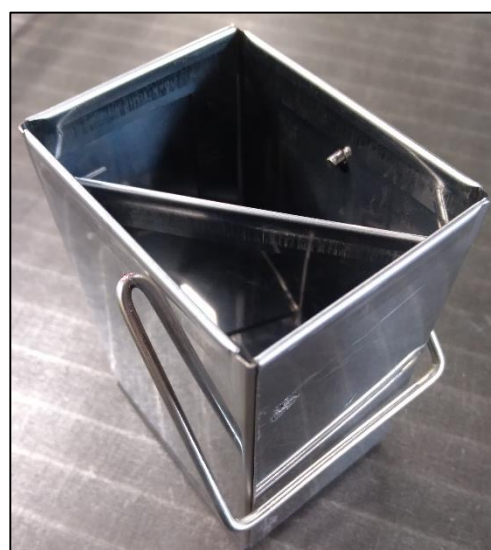


図1 製作したペン立て